

事業所における自己評価結果（公表）

公表 令和7年3月31日

事業所名 乳幼児親子教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 整備・ 体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	9	0	0		・定められた広さはあるが、狭さは感じる
	②	職員の配置数は適切である	8	0	1		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	9	0	0	・定められた広さはある。狭さは感じるが、手すりもつけて危険のないようにしている	
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	9	0	0	・毎回反省会を行っている	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	9	0	0		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	9	0	0		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	9	0	0		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	9	0	0	・施設内、法人内研修を年5回行っている。	・外部研修への参加が進めにくい
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	8	0	1		アセスメントツールはあるが、使用が定着ついていない所はあるが、今後もしっかり取り入れていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	1	・クラス全体で話し合っている	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	9	0	0	・固定化した活動も大切だと考える	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	9	0	0	・その季節にあった内容を心がけるようにしている	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	9	0	0		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	9	0	0		
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	9	0	0	・必ず振り返りを行っている。		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	・記録の取り方の研修を行った。	・記録の取り方は勉強していく必要がある
関係 +4%	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	9	0	0		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	9	0	0		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	9	0	0		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	9	0	0	・学校公開に正規職員が行っています。・年間計画は保護者を通してもらっているが、直接の連携は難しい	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	0	3	対象児がない。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0	2	・同法人内の児童発達支援を利用されていた方は細かな申し送りを行っている。	放課後等デイサービス事業から利用開始した子どもについては幼稚園や保育園等との連携は図れていないので、今後情報共有を図っていきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	0	1	・低学年対象のため対象者がいない	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	0	0		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	0	5	・通常級や支援級在籍の子が対象のため、学校で十分交流は取れている。	
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	9	0	0	・参加している。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	0	・常日頃から話すようにしている	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	0	2	・ペアレントトレーニングは行っていないが、日頃から家庭での過ごし方や、接し方のアドバイスをしている	
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	0	・年度はじめに説明会を設けている	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	0	・日頃からいつでも受け付けている	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	0	0	・交流会や勉強会の最後に職員が入って小集団で話し合う機会を設けています。	
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	0	・苦情や相談を受け付ける体制は整えています。いつでもご相談ください。	
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	0		
	㉟	個人情報に十分注意している	9	0	0		
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0	・相手に合わせた、連絡手段を考えている	
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	2	・療育に通っていることを知られたくない方もいるので、慎重にやらなくてはならない面だと思う	
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	0	0	保護者会等でマニュアルは説明している。	
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	2	・避難の方法を子ども達と話したり、非常食を実際に食べてみる等、活動に取り入れている。	
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	1	・年に一回以上の研修、委員会会議を行っている	
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	0	・保護者に詳しく聞き、名札に目印をつける等わかりやすくしている。	
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	1		・細かな事柄でも書くように努めていく。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。